



梅のつぼみも膨らみ始め春の兆しを感じる季節になりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？
(T・A)



ALBA 新聞はアルバの利用者が作成しています。

トーマス・アルバ・エジソンについて

1847年2月11日はエジソンの誕生日です。そこでエジソンについて紹介したいと思います。
トーマス・アルバ・エジソンは生涯に1300もの発明と技術革新を行ったアメリカの発明家です。
エジソンの三大発明として特に有名なのは蓄音機・白熱電球・キネトスコープと言われています。
少年時代のエジソンは、好奇心旺盛で「なぜ？」と人に聞くことが多かったそうです。小学校でもエジソンは自分が気になったことには「なぜ？」と、とことん先生に聞いて困らせていたそうです。最終的に担任の先生からは「君の頭は腐っている」と言われ、校長先生からは「ほかの生徒たちの邪魔になる」と言われて、入学から3カ月で退学となりました。ですが、彼の母親は唯一エジソンを理解してくれました。

次は、エジソンの三大発明と言われている発明をご紹介します。

エジソンは1877年(当時30歳)に蓄音機を発明しました。蓄音機は音を録音する機械です。1857年にフランスのマルタンヴィルが音を録音する装置を発明しました。ただ、この装置は再生ができませんでした。そこでエジソンは、1877年に音を録音して再生できる蓄音機を発明しました。エジソンは蓄音機を発明したとき、「メリーさんの羊」を蓄音機に吹き込み、研究員たちに聞かせたそうです。

続いてエジソンは、1879年10月(当時32歳)に白熱電球の改良に成功しました。もともと白熱電球は同年2月にイギリスのスワンが最初に発明しています。ただ使用時間が短く実用化に向きませんでした。それからエジソンは電球を長持ちさせるために必要な素材を600種類も試しました。そして最終的に石清水八幡宮(いわしみずはちまんぐう)がある男山(おとこやま)の竹が選ばれました。この竹を使用することで電気は1000時間光りました。そして、街中に明かりを灯せるようになりました。

エジソンは、1889年(当時42歳)に映画の上映装置であるキネトスコープを発明しました。映画をスクリーンに投射するのではなく、箱の中でフィルムを回転させ、立ったまま上から覗き込んで映画を鑑賞します。キネトスコープは1台に対し1人しか映画を鑑賞できませんでした。

その後、エジソンのキネトスコープに感銘を受けたリュミエール兄弟が、スクリーンに映画を投影するシネマトグラフを1890年代に開発し、現在でも主流になっています。エジソンが発明、技術革新したものは他にも多くあります。エジソンの発明は、文明の進展に大きく貢献し、現在の生活を便利にしています。



(K・T)

2月5日はプロ野球の日！

なぜ2月5日がプロ野球の日なのかというと1936年(昭和11年)のこの日は全日本職業野球連盟(後に日本野球連盟と改称、現在の日本野球機構)が結成されたからです。また、「職業野球連盟設立の日」ともされています。

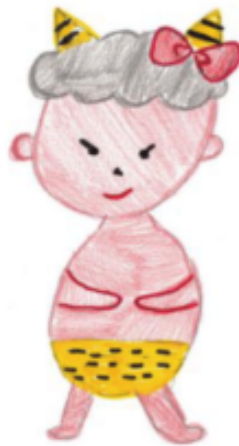
当時の加盟チームは、東京巨人軍(現:読売ジャイアンツ)・大阪タイガース(現:阪神タイガース)・阪急軍(現:オリックス・バファローズ)・名古屋軍(現:中日ドラゴンズ)・大東京軍(現:横浜ベイスターズ)・東京セネターズ・名古屋金鯱(きんこ)軍の7チームでした。東京セネターズと名古屋金鯱軍のその後は1941年に合併され、大洋軍(1941-1942年間活動、大洋ホエールズ=現:横浜DeNAベイスターズとは無関係)となり、西日本鉄道に身売りし西鉄軍(現:埼玉西武ライオンズとは直接の繋がりはない)となるも1943年で解散しています。

(I・S)

ALBA新聞2月号では利用者・スタッフのみなさんからイラストを募集しました。

テーマは「オニ」。素晴らしい作品のご応募ありがとうございました！

(O・T)



各SNSでプログラムの様子を見ることが出来ます。是非チェックしてみてください。
3月号もお楽しみに！

